

オープンキャンパスの話題再び

今年も例年通りに梅雨入りし、からっと晴れたり蒸し蒸ししたりの繰り返し約2ヶ月続きましたが、この原稿を書いている6月20日頃は、毎日風がわりと涼しく、このままずっと涼しければよいのになぁと、儂い期待を抱いております。これまで職場では(兼務として)「学生支援担当次長」であったのが、この4月より「キャリア支援担当次長」に異動となり、学生さんの就活を間近で見守るようになっております。「売り手市場」との報道がされているように、今シーズンは例年になく内定(内々定)が出るのが早く、その点だけを捉えたと、昨今の就職状況が「まるでバブル期の再来」とまで言われているのもあながち間違いでもないようです。

今回の話題は、平成21年10月号に引き続き、本学でのオープンキャンパスであります。オープンキャンパスとは、休日に自校キャンパスを開放し、来学した高校生・保護者に対して、模擬講義、進学相談などを行うものです。すでに10年以上前から、全国の高等教育機関では「オープンキャンパス花盛り」であり、趣向を凝らして、少子化時代の受験生獲得に躍起になっているのが実情です。

平成21年10月号では、経営学部での模擬講義のお題が「先生のお宝拝見—商品にみるビジネスチャンス」ということで、当方が「食玩としての鉄道コレクション」というタイトルで講義を行っていることを書きました。話の流れは、「食玩」とは(食品のおまけとして付いていた)各種のフィギュア類で、ブラインドパッケージ方式の販売方法を探るものが多く、コレクターが懸命にコンプリートを目指すこと、「鉄道コレクション」とは(株)ミーテックから発売されている鉄道車両のディスプレイモデルで、鉄道模型Nゲージに準拠した規格で作られており、別売パーツを追加・交換することにより、Nゲージの線路上を走行させることができることなど、これらを一通り説明した後で、「あなたなら、この分野について、どんなビジネスチャンスを見出しますか?」と生徒に水を向けるというものです。

オープンキャンパスの担当(当番)は当方の場合、年間1、2回あるのですが、平成25年まではこのタイトルでやっておりました。そして、平成26年からは趣向を変えて、模擬講義ではなく、「讃岐のデートプラン対決!!」(香川県外から入学してきた彼女をエスコートして、どこに連れて行くかというデートプランを競う)や「対決! 弾丸ツアーin香川!!!」(海外からついでの観光に香川県に来た女子大生を1泊2日の弾丸ツアーに案内するプランを競う)といった、学生同士のプレゼン対決を指導しておりました。

これらの対決企画は、1回こっきりの真剣勝負となるので使い回しがききません。さらに、指導者の負担が大きいため(お察しください)、平成29年度の本学部オープンキャンパスは、再び模擬講義中心の内容となりました。当方も再び担当を命じられ、久々に「食玩としての鉄道コレクション」を講義することになりました。そこで、講義内容をアップデ

ートする作業と、「現物」である(A3トランク内に作った)レイアウト(車両の走行が可能な情景模型)を引っ張り出し、整備に取りかかったのです。

さて、アップデートのためにいろいろ調べていくと、鉄道コレクションの価格が高騰しているのに驚きました。平成17年に発売された第1弾では1コ¥400であったものが、第5弾では¥600、第15弾では¥800となっています。それが平成27年の第22弾ではとうとう¥1,200になりました。これは主に中国の労働賃金が近年徐々に上がっていったことに起因するものですが、この間、売れ行きがどのように変化しているのかなど、大いに興味をそそられますね。

このような内容を絡めて鉄道模型業界を取り巻く状況についての論文でも書けたらいいなぁ、でも目の肥えたマニアの指摘が怖いなぁとか思っていたところ、たまたま目を通したネットニュースによると、実はすでにあつたのです。藤井・平野「日本の鉄道模型産業に関する構造分析～産業組織論・マーケティングミックス戦略論の視点から～」(東京交通短期大学『研究紀要』第22号)という論文です。ただし、中級程度のマニアである当方から見ても、いささか見当外れの分析を行っている箇所も散見され、大枚を叩いて鉄道模型を購入しているコアなマニア層が見たら、かなり文句を付けられるような...

また、いつのまにか(正確には平成21年から)、「全国高等学校鉄道模型コンテスト」なるもので開催されていました。これは高校生向けの、レイアウト表現技法を競うコンテストで、鉄道模型関連のクラブのみならず、美術部とか歴史・地理部とかの参戦もあります。さらに女子校も参加しており、後援には文部科学省も名を連ねています。言わば高校野球における「甲子園」のような檜舞台で、このような場を設定することで鉄道模型趣味の裾野の拡大を狙い、それが定着しつつあるところなのでしょう。

このような追い風の状況に少々気をよくして、5月20日(土)のオープンキャンパスでの講義に臨んだのですが、20名余りいた来学生徒はほとんどが当方の話に興味を示さず、拍子抜けしてしまいました。以前には大いに食いつきがよく、トランクレイアウトを披露すると、「癒される...」との感想を述べる生徒までおり、それがゆえの再起用となったわけですが、この状況には我々教員側も内心、大いに驚いてしまいました。当方の講義は、確かに、男女ともマニア気質(何かにハマる傾向)がある生徒には大いに受けるのですが、そのような気質のない生徒にはまるで面白味を見いだせないのです。そこで、この現象はたまたまこの回だけのことなのか、それとも本学部を志望する大半の生徒の気質がここに来て変わってきているのかなどなど、マーケティングの観点からマジメに考えないといけないようです...



正岡 利朗

(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

中央会だより 1

平成29年度通常総会を開催

本会は6月15日、高松国際ホテル(高松市)において会員組合等の代表者ら107名並びに来賓多数のご出席のもと、平成29年度通常総会を開催しました。

提出議案は下記のとおりです。

- 第1号議案 平成28年度事業報告書並びに決算書承認の件(原案通り承認)
- 第2号議案 平成29年度事業計画(案)並びに収支予算書(案)承認の件(原案通り承認)
- 第3号議案 平成29年度会費承認の件(原案通り承認)
- 第4号議案 平成29年度借入金残高最高限度額承認の件(原案通り承認)
- 第5号議案 役員の一部辞任に伴う選任の件(下記のとおり選任)



▲挨拶をする国東会長

役職名	氏名	所属組合名
副会長	大 峯 茂 樹	本場さぬきうどん協同組合
常任理事	香 西 幸 夫	香川県建築事業協同組合
//	三 好 忠 廣	香川エルピーガスクリン協同組合
理事	貞 野 正 昭	赤帽香川県軽自動車運送協同組合
//	新 名 淳 一	香川県電気工事業工業組合
//	浦 篤 正	香川県屋外広告美術協同組合
//	下 本 一 彦	小豆島手延素麺協同組合
//	木 村 一 夫	中央会青年部会長

(順不同・敬称略)



▲総会会場

議案審議終了後、国東会長より「国から委託を受け本会が窓口となっております『革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金』は今年で5年目に入り、今年度の香川県での採択件数は74件、補助金ベースでは総額9億3,800万円と極めて高い評価を受けております。

今後とも中小企業施策の実施機関として、様々な施策に積極的な企画提案を行い、迅速かつ円滑な事業遂行によりまして、県内中小企業の振興・発展のために尽力してまいります。」と挨拶しました。



▲懇親会の様子

続いて来賓を代表して香川県知事・浜田恵造様、四国経済産業局産業部長・由佐信次様、香川県議会議長・五所野尾恭一様より祝辞を頂きました。会場を移動しての懇親会では、商工組合中央金庫高松支店長・天野睦様の乾杯の発声により、和やかな雰囲気のもと会員等の交流が図られ、盛会のうちに終了しました。

中央会だより 2

第1回外国人技能実習制度適正化講習会を開催

6月23日、高松国際ホテル(高松市)において、外国人技能実習生受入事業の適正な運営を図ることを目的に講習会を開催し、組合関係者ら130名が出席しました。

外国人技能実習機構・総務部長の高橋秀誠氏より「外国人技能実習機構の概要及び管理団体の許可手続き等について」をテーマに今年11月1日施行の新しい技能実習制度の概要、主務省令、新制度における申請手続きのポイント、不正行為に対する措置等の説明があり、出席者は今後必要な手続きなどについて熱心に耳を傾けていました。



▲外国人技能実習機構・高橋氏



▲会場風景

中央会だより 3

香川県外国人技能実習生受入組合連絡協議会が通常総会を開催

香川県外国人技能実習生受入組合連絡協議会は、6月30日、中央会研修室(高松市)において平成29年度通常総会を開催し、組合関係者ら約20名が出席しました。

平成28年度事業報告・収支決算、平成29年度事業計画・収支予算、平成29年度会費の賦課額及び徴収方法についての審議が行われ、原案どおり承認可決されました。任期満了に伴う役員の変更が行われ、香川県縫製品工業協同組合の楠井芳則理事長が会長に再任されました。

議案審議の後、高松入国管理局の河村主席審査官をはじめ、香川労働局、四国経済産業局、香川県、香川県警察本部、外国人技能実習機構、(公財)国際研修協力機構より挨拶並びに外国人技能実習生受入組合が留意すべき事項についての説明がありました。

本協議会は組合が実施する「外国人技能実習生共同受入事業」の本来の目的である開発途上国の人材育成協力という視点に立ち、実習生の秩序だった受入れ、技能向上など、本事業の適正な運営を推進することを目的に実習生受入事業に関する情報交換会・意見交換のための会議の開催、広報活動の実施、セミナーや講習会の開催、調査研究等を実施しております。



▲楠井会長



▲総会の様子

香川県外国人技能実習生受入組合連絡協議会へのお問い合わせは…
香川県中小企業団体中央会 総務企画部 連携支援課 / TEL.087-851-8311

NEWS

1

木工技能者の技ひかる

香川県アースリウッド協同組合

香川県アースリウッド協同組合は5月22日から26日まで香川県庁本館1階ギャラリー（高松市）において恒例の香川県建具技能作品展（「さめきたてぐ祭」）を開催しました。

この作品展は、木工技能者の技能向上を図るとともに、県民に建具の「木の温かみ、香り、良さ」、また、技術を披露しPRするために、昭和63年から毎年続けられており、今年で29回目を迎えました。

会場には県内組合員が伝統の技術を駆使した組子障子やデザイン性を重視したドアなど約30点が並び、来庁者の目を楽しませていました。

また、26日には入賞作品の表彰式が行われ、香川県中央会会長賞として(有)森本建具店・森本隆氏の「Triple Lap」が受賞しました。

福家芳弘理事長は「建具は自然との調和を大切にしてきた日本人の生活スタイルに必要不可欠な存在です。この展示会を幅広い方々に見てもらい、消費者ニーズも多様化している中で建具が現代生活の中に取り入れられ、建具市場がさらに拡大・活性化されれば」と期待を寄せていました。



▲香川県中央会会長賞「Triple Lap」



▲表彰式

NEWS

2

小豆島そうめんのおいしさPR

小豆島手延素麺協同組合

5月から7月にかけて高松市中心部において小豆島特産の手延べそうめんを振る舞うイベントが開催されました。

そうめんや小豆島の魅力発信に取り組んでいる飲食業の平井料理システムが企画し、「小豆島そうめん大試食会」と銘打ち行われたもので、小豆島手延素麺協同組合がブランドそうめん「島の光」を無償で提供しました。

この大試食会は、5月から7月にかけて丸亀町グリーン、瓦町FLAGコトデン瓦町改札口前、丸亀町三町ドーム、JR高松駅改札口前と会場を変えながら開催され、組合員らは乾麺やパンフレットを買い物客らに手渡して小豆島そうめんをアピールしていました。

日本三大そうめんの一つでもある小豆島そうめんの「島の光」は瀬戸内海産の塩、酸化しにくく、製品が劣化しにくいそうめん用に特別に加工された「かどや純正ごま油」を100%使用。瀬戸内海特有の澄みきった寒風が吹き寄せる中で天日干しを行うなど400年余りの歴史を持ちます。

買い物客らは島伝統の味に舌鼓を打っていました。



▲小豆島伝統のそうめんを無償で提供



▲パンフレットを手渡して買い物客らにPR

NEWS

3

みとよ水フェスタを開催

三豊市上下水道工事業協同組合

三豊市上下水道工事業協同組合は6月4日、三豊市市民交流センター(三豊市豊中町)で「第6回みとよ水フェスタ2017」を開催しました。

6月1日～7日まで「あたりまえ そんなみずこそ たからもの」をスローガンとした第59回水道週間ということで、もっと身近に、水道について知ってもらいたい、そして楽しんでもらいたいと毎年この季節に水のことを知る機会として開催されています。

ステージイベントでは、キッズダンス・よさこい踊り・和太鼓など様々な催しが、出展ブースでは、水に関するクイズラリーやきき水コーナー、焼きそば・黒にんにくカレーなどのバザーが行われ、多くの来場者で賑わいました。

組合ブースでは、水道パイプで水鉄砲を作製するコーナーを設け、集まった子ども達は、組合員に教えてもらいながら自分だけのオリジナル水鉄砲を作製し、実際に水を使って夢中になって遊んでいました。

その他、応急給水体験や水難救助用ドローンの展示などもあり、来場者はこのイベントを通して災害時における備えの必要性や日常生活の中であたりまえとなっている水の大切さ、ありがたさについて感じていました。



▲水道パイプを使った水鉄砲作り



▲応急給水体験

NEWS

4

多彩な石材製品一堂に

讃岐石材加工協同組合

6月10日、11日にサンメッセ香川(高松市)において、讃岐石材加工協同組合主催により業界最大級の石材総合展示会「あじストーンフェア2017」が「庵治博～AJIHAKU～」をテーマに開催されました。

地元である庵治産地業者をはじめ県内外の計125の業者・団体が墓石や彫刻、箸置きや傘立てといった生活に密着したインテリア製品など約1800点を出展し、関連業者や家族連れらで会場は賑わいました。

また、昨今の供養形態の多様化を受けて企画された「供養のかたちコンテスト」では、庵治石を用いた様々な追悼方法を提案しようとハート形の墓石や室内に置いてインテリアと調和する墓、骨つぼなどが展示されました。

その他、恒例の「庵治大丁場採場研修」や高松市指定無形民俗文化財である「石切り唄」の披露、デジタル遺品サポート・生前整理・終活をテーマとする「エンディングセミナー」、親子で楽しめる「石のワークショップ」など趣向を凝らした催しが実施されました。

来場者は石の持つ魅力や伝統の技を生かした製品などに見入っていました。



▲供養のかたちコンテスト



▲高松市指定無形民俗文化財「石切り唄」

FROM青年部

平成29年度通常総会を開催

6月20日、本会青年部はオークラホテル高松（高松市城東町）において青年部会員45名と来賓多数出席のもと、平成29年度通常総会を開催し、議案の審議が行われ平成28年度事業報告・収支決算、平成29年度事業計画、収支予算など全議案が満場一致で承認されました。

続いて、ご臨席を頂いた来賓の皆様を代表して、香川県知事・浜田恵造様、四国経済産業局産業部長・由佐信次様、香川県議会副議長・竹本敏信様、本会顧問鎌田守恭様よりご祝辞を賜りました。

懇親会では、木村一夫青年部会長より「異業種団体という本会青年部組織の強みを活かした事業を展開していきたい」との挨拶、並びに11月17日に高松国際ホテルにて中央会青年部創立40周年記念式典を開催する旨の案内がありました。会員青年部の事業PRも行われ、和やかな雰囲気のもと、情報交換とともに会員相互の懇親を深め、盛会のうちに終了しました。



▲総会の様子



▲浜田恵造香川県知事



▲木村会長

FROM青年部

全国中小企業青年中央会通常総会(於 佐賀県)へ出席

6月23日、マリトピア(佐賀県佐賀市)において全国中小企業青年中央会(UBA)平成29年度通常総会が開催され、全国から約280名が出席、本会からは木村会長、土居四国ブロック会長、事務局の3名が出席しました。

総会に先立ち各県の会長らによるUBAサミットが開催され、ビジネス連携、ビジネスマッチングについてのグループ討議が行われ、活発な議論が交わされました。

総会では平成28年度事業報告、決算報告並びに平成29年度事業計画、収支予算など4つの議案についての審議が行われ、全議案が満場一致で承認されました。

引き続きUBA創立25周年記念式典が行われ、歴代会長にこれまでの感謝を込めて記念品の授与がありました。

その後の懇親会では来年度のUBA総会が徳島で開催されるため四国ブロックとしてPRを行いました。



▲UBAサミット



▲総会での土居四国ブロック会長(中央)



▲総会の様子



▲懇親会での次期開催地(徳島県)PR

本会青年部は、業種や団体の枠を超えた交流・連携に取り組み、中小企業並びに組合等の振興に寄与することを目的として各種事業活動を行っています。

組合青年部の組成や他組合青年部との交流会開催希望等ありましたらご相談ください。

香川県中小企業団体中央会 事業振興部 / TEL.087-851-8311

夏季の省エネルギーの取組について ～6月から9月は夏季の省エネキャンペーン～

6月から9月までの期間はエネルギー消費が増加する季節です。冷房中の室温を適切に調整する等の省エネルギーの取組を実践しましょう。



▲四国地域エネルギー・
温暖化対策推進会議マスコットキャラクター
「エコくん」

●特に心がけていただきたい夏季の取り組み●

<空調>

- 風量や外気温等の状況に応じて窓を開け外気を取り入れ、冷房を停止する。
- 冷房中の室温は、原則28℃を徹底する。
- 冷房効果を高めるため、フィルターの掃除、ブラインドの活用、扇風機の使用等工夫する。
- エアコンを購入するときは、省エネラベルを確認し、省エネルギー性能が高い機器を選択する。

<照明>

- 不必要時のこまめな消灯に努める。
- 支障のない範囲での照明の間引き（特に通路や窓際）に努める。
- 照明器具を購入するときは、省エネ型の電球形蛍光灯やLED電球等を選択する。

<電力消費機器>

- エレベーターやエスカレーターの運転台数削減等に努める。
- 電気ポット、パソコン等を使わないときには、こまめに電源を切る。
- 冷蔵庫は、扉の開閉回数を減らす、食品を詰め込み過ぎないようにする。
- 購入するときは、省エネルギー性能の高い機器を選択する。

<運輸・交通>

- できる限り鉄道、バスなどの公共交通機関を利用し、近距離移動は徒歩や自転車で移動する。
- 自動車を利用する場合には、エコドライブ（ふんわりアクセル、早めのアクセルオフ、アイドリングストップ等）を実践する。

◎工場やオフィス等における無料の節電・省エネ診断を募集しています！

省エネ・節電ポータルサイト

検索

<http://www.shindan-net.jp/>

◎資源エネルギー庁では、一般向け・事業者向け省エネ情報を提供しています！

省エネポータルサイト











検索

http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/general/





地政学リスクは低減したが、 過当競争と人手不足で経営コストの上昇が続く

2017年5月



















Industry Information















製 造 業	食料品 	<ul style="list-style-type: none"> ●大型連休は曜日の並びが良く天候にも恵まれたが、大きな伸びはなく、ほぼ前年並となっているようだ。(製粉製麺) ●出荷高は、前年同月比86.2%であった。(調理食品) ●売り場の人材不足により冷凍食品のニーズは高まっている。そのような中、多くのものが値上げとなってくる。ビールが酒税法改正で、小麦粉は政府の国際相場での値決めで、乳製品は生乳不足によって値上げとなる。冷食の製造では原料コストがアップする。消費では、財布のヒモが固くなることによる消費ダウンが心配される。(冷凍食品) ●組合員の業況については、こだわり商品を中心に売上は伸長しているものの、業務用醤油で販売不振の状況が見られる。6月、7月のお中元商品の売上増加が期待される。今後の消費動向を観察したい。当組合の生揚げ販売状況は、前年同期比(4月～5月)86%程度で大きく下落している。販売高減少に歯止めがかからない業況である。(醤油)
	繊維・同製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●本年度の秋冬物の受注は、ここ数年続いているアパレル産業の不振の中、手袋の販売も例外なく大変厳しい状況で、小ロット、多品目でコストアップの一因となっている。また、夏用UV手袋も5指の手袋は平均並みで推移しているが、指無しタイプは異業種の参入や100円ショップでの販売で価格の低下が見られる。(手袋)
	木材・木製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●製材は昨年と変わらず。入荷は増加している。市場は昨年と変わらず。景気はやや上向きである。プレカットは昨年と変わらず。(製材)
	印 刷 	<ul style="list-style-type: none"> ●組合員各社とも受注が昨年度から減少気味であり、今年度は横這い状態である。各社とも紙の値上げ情報は、無い模様である。(印刷)
	窯業・土石製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●市況改善の取組みを継続実施して改善しつつある。(生コンクリート) ●年度始めとゴールデンウィークの連休が重なり過去最低の売上となった。(ブロック) ●組合員の事業の稼働状況は、低下の方向ではあるが、それ以上に問題であるのは、仕事の利益率が悪化していることである。売上が減少している中、収益も確保できない悪循環で事業継続が本当に難しくなっている。(石材加工)
	鉄鋼・金属製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●キッズウィーク導入は、絶対反対である。我々零細企業にとっては、休日が増えるばかりで、製造業には経営上マイナス面が大きくなるばかりである。従業員も日給であり、休日が増えると収入が減って、生活が大変になると思う。もう少し実情を考えて欲しい。物づくりの業界の実情を余りにも知らなすぎる。これでは我々企業にとっては、マイナス面ばかりで将来の望みもない。(鋳物) ●なんとか現有人員で仕事をこなしているものの、新卒、中途の何れも採用難が続いている。賃金等労働条件整備、社風の改善等、各社課題解決を心新たにしているところである。(鍍金)
	一般機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●総じて県内の製造業は、前年に比べ工事量、売上共に減少傾向にある。フェンス製品、歩道橋防護柵等の製造業は、全国的な販売網であるが、売上、収益共に昨年同期並みである。民間需要として顕著であった太陽光代替エネルギーの設備が減少しつつある。物流倉庫等の工場建設による周辺防護、環境整備の需要に期待するところである。建設用鉄骨は、4、5月にかけて企業の工場増築、改築工事が急増し、見積もりは順調である。価格は上向くものと予想されたが、阪神地区の業者と競合、低価格を提示するため値上げは難しい。昨年は定時操業以下であったため好転した。地場中小の機械加工、部品組立工場は、前年に比べ一時的に減少が見られたが、その後、自動車、電気関連の部品メーカーから受注が続き平時の生産量が続けている。2017年までは受注残を抱えていた造船関連工業は、業界が直面する景気減速による海上荷動きの減少と船腹過剰により、新規の船舶建造が大幅な落ち込みである。2018年に向けて工場の正常な稼働を期すため新規受注の獲得が急務となっている。反面、中小、零細規模の鉄工事業所の雇用は、技術労働者を中心に人手不足が生じており、新規採用も難しいため引き続き有期契約社員の受入を進めている。(一般産業用機械・装置)
輸送用機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●工事量、人員ともに安定しています。(造船) 	
その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●大口の案件は増加してきているが、落札単価は異常に低下しているようだ。(団扇) ●5月17日～21日に「香川の家具とぬりもの新作見本市」と「家具漆器フェア」を開催した。業者向けの見本市の方は、80回の記念として、特別価格提供品コーナーなどを設け集客を図ったが、前年並みの来場者で、成約も前年並みとなった。一般向けの家具漆器フェアについても来場者は昨年より少なめで売上も前年並みであった。(漆器) ●5月の業況は、前月より好転しましたが、前年同月と比べたら少し落ちていました。4月が悪く、今月が良かったと錯覚する程でした。大手間屋専門の業者も同じ状況です。(綿寝具) 	
非 製 造 業	小売業 	<ul style="list-style-type: none"> ●野菜の出荷量も増え、価格も下がり安定したが、売れ行きは良くなかった。(青果物) ●卸売価格が5月に1～2円上昇するも、小売価格に反映されていないので、組合員の収益は悪化している。元売りの大手企業の合併により、安売りの原因である業転ガソリンが減少すると思われたが、依然として業転ガソリンは出回っており、引き続き、安売業者は安泰のようである。(石油)

5月の県内景況は、前年同月と比べて業界の景況DI値は-25.0ポイントで前月調査の-31.3ポイントから6.3ポイントの改善となった。その他の主要指標のDI値においては、売上高DI値は-25.0ポイントで前月調査の-20.9ポイントから4.1ポイントの悪化となった。収益DI値は-27.1ポイントで前月調査の-25.0ポイントから2.1ポイントの悪化となった。地政学リスクは低減したが、原材料、製品価格の値上げの動きがある。過当競争と人手不足で経営コストの上昇が続いており、中小企業の先行きは注視していく必要がある。

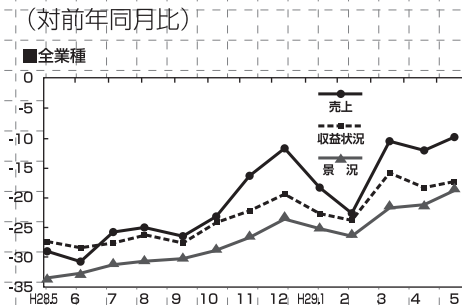
非製造業	小売業 	<ul style="list-style-type: none"> ●2009年度から8～9年が経過しようという今年は、買い替えを勧めるタイミングであり、4Kという目新しい商材を訴求しやすい環境も強まっている。まだ映っている、不便は感じないというユーザーへの説得は、これから守備範囲も広げ、新しい商材をお客様に提案していこうという店にとって、その挑戦時の指針になる。エアコンや冷蔵庫などの買い替え需要促進策でも共通する。お客様とのつながりの強さを、自ら再確認することで、これからのつながり強化策に活かしていくためのアプローチとも言える。お客様から言われる前に買い替えを意識して対応を図るアクションが不足している店も少なくないようだ。調子が悪くなってからの急遽の買い替えほど、ネット通販や大型店に向きがちと言われている。(電機)
	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●このところ増え続けているインバウンド客を含め、街は人通りが多く、にぎわい、活気がある。株価が2万円を超えたこともあり、消費マインドも高まっているといえる。商店街には出店ラッシュが続いており、飲食、サービス業(美容室、エステ教室他)の新店が次々とオープンしている。しかしながら、街全体での売上は上がっておらず、主力の衣料品が多くの店舗で低迷しており、苦戦が続いている。地方では所得上昇の実感がなく、消費者の多くは、まだまだ生活費を切りつめた生活が中心でレジャーやコト消費には若干支出を増やしているが、財布のヒモが緩んできていないとは言えない。また、従来若い人を中心にインターネットでの商品購入がされていたが、その視野は広がっており、年配層の実店舗での購入も影響を受け始めていると思われ、今後、実店舗はこの競争にも知恵を絞らなくてはならないと感じる。(高松市) ●ゴールデンウィークも終わり日常に戻りました。天気が良く商店街は少ない人通りで郊外型の連休でした。5月20日より、近隣の百貨店で「うまいもの展」のイベントがあり、人も多かったようです。ネット社会になり商店街の小売業は、これからも厳しくなるばかりです。(高松市) ●ゴールデンウィーク中には、地元の大イベントの「お城まつり」が行われ、天気も良く2日間で27万人の来訪者(主催者発表)を記録した。商店街も人は多かったが、飲食を除けば売上に結びついた店はなかったと感じる。色々な施策効果もあってか、商店街に新規出店する店が出ている。問題は長期にわたって営業を続けることが大切で、商店街振興組合としても出店者とのコミュニケーションを折にふれて行い、事業の中で必要の要望や対策・改善点を汲み取り応えていかなければ駄目だと思う。(丸亀市)
	サービス業 	<ul style="list-style-type: none"> ●新規参入を狙う同業他社との価格競争が激しくなっている。受注量が減少している。(ディスプレイ) ●5月は、1日2日を休めば、9連休となり、そのGWの混雑を期待していたが、全く効果はなかった。市内が満室であったのは、3日4日であり、ほぼ満室が5日だけであり、大きく期待を外れてしまった。ただ、その後、学会その他で、5月全体で6%程度の売上アップであったと聞き及んでいる。6月は、例年動きが少なく、7月8月に期待したい。(旅館) ●香川県専修学校各種学校連合会が平成28年度高卒者進路状況調査で医療分野が49%と圧倒的に多く、次いで、工業関係、文化教養関係、衛生関係(調理、理容、美容、製菓等)が同じ11%と並んでいる。美容師志望者が減っている上、オーバーストアで今後、より鮮烈な人材の取り合いが予想される。(美容)
	運輸業 	<ul style="list-style-type: none"> ●地方の景気回復の遅れ等により、長期的に運賃収入、輸送人員が減少しており、非常に厳しい経営状況が続いている。特に郡部での日車管収の悪い地区が多い。乗務員不足が深刻化するとともに、高齢化が進んでおり、事業継続が懸念される状況にある。(タクシー) ●平成29年4月分高速道路通行料金利用額の対前年同月比は、2.3%増となり、対前月比では5.4%減となった。また、4月分利用車両数の対前年同月比は、3.0%増となった。(トラック) ●大手通販業者の荷扱いを始めとして、有力宅配事業者の再配達に関する経営方針がニュースで大きく取り上げられるなど、総労働時間抑制が問われている。安倍内閣の働き方改革の影響等も受けて、5年先罰則付きの規制が適用されるため、運送業も厚労省大臣告示の労務改善基準を上回る労務管理の徹底を余儀なくされている。大手運送事業者が、運賃値上げを宣言したり、完全週休3日を打ち出したり、中小企業にとって、値上げできる土壌が整いつつある。(貨物)

香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

	売上高	収益状況	業界の景況
製造業	食料品		
	繊維・同製品		
	木材・木製品		
	印刷		
	窯業・土石製品		
	鉄鋼・金属製品		
	一般機器		
	輸送用機器		
	その他		

	売上高	収益状況	業界の景況
非製造業	卸売業		
	小売業		
	商店街		
	サービス業		
	建設業		
	運輸業		
	その他		

全国集計によるDI値の推移 (対前年同月比)



※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧いただけます。
<http://www.chukai-kagawa.or.jp/>

お知らせ

かがわ中小企業応援ファンド

～県外見本市出展支援・平成29年度 後期事業募集のご案内～

(公財)かがわ産業支援財団では、平成19年度に造成した「かがわ中小企業応援ファンド」を活用して、中小企業者や地場産業関係組合等が行う、研究開発、販路開拓、人材育成などの新たな取組みを総合的に支援しています。

この度、平成29年度の後期事業として「県外見本市出展支援」を募集しますので、ご活用ください。

新製品、新サービスや新技術で大都市圏進出や全国展開を目指す中小企業者等に対し、見本市等への出展を支援することにより、業務提携や販路開拓を応援します。

■募集期間

平成29年6月12日(月)～平成29年8月4日(金) 必着

■助成対象者

- (1)県内に主たる事業所を有する中小企業者又は中小企業団体
 (2)上記要件を満たす複数の者が共同して出展する場合の複数企業又は中小企業団体

■対象事業

自社で開発した新製品、新サービス、新技術、機械部品、材料・加工技術等を、県外で開催される見本市等に出展する事業対象となる見本市等は、平成29年10月から平成30年2月末までに開催されるもの。

■助成内容

基本小間(1小間に限る)の借上げ料、基本設営及び装飾費

※1件につき50万円を上限とし、消費税及び地方消費税相当額を除きます。

※商品輸送費等、上記以外の出展経費については、支援対象者の負担です。

■助成対象の見本市

出展者が希望する見本市のうち、原則として平成29年10月から平成30年2月末までに開催されるもの。

※交付決定日(平成29年9月上旬予定)以降で、原則として平成30年2月末までに支払いが完了しているもの。

(交付決定日前の支払いは助成対象外となります)

※事業完了後、速やかに実績報告書をご提出ください。

(提出期限:展示会終了後10日以内、または平成30年3月9日の早い日まで)

■採択の基準

次の各項目について審査を行い、採択を決定します。

- ①出展の目的・妥当性 ②新規性 ③市場性 ④安全性・信頼性 ⑤企業業績と体力

■採択予定件数

20件程度

■問合せ・申込先等 〒761-0301 高松市林町2217-15

香川産業頭脳化センタービル2階

(公財)かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課

TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

事業の詳細及び申請書様式等は、(公財)かがわ産業支援財団ホームページ

http://www.kagawa-isf.jp/sien/fund/fund_h29se/fund04.htm をご確認ください。

商工中金だより

グローバルニッチトップ支援貸付のご案内

貸出条件概要 10年期限一時返済・金利成功払い型

ご融資期間	原則10年
返済方法	期限一時返済
ご融資利率	成功払い(不成功の場合 0.6%、成功の場合 当金庫所定の利率)
利払い方法	1、3、6ヶ月毎のいずれか(前払)
ご融資限度額	5億円
期限前弁済	原則不可
資金使途	出資金、親子ローン、設備資金、研究開発費
海外事業計画	海外事業計画書の作成が必要です。ご提出いただいた海外事業計画書は、商工中金に設置しているグローバルニッチトップ企業認定委員会における認定が必要です。
適用金利条件	適用金利は、事業の成否に応じた「成功判定」に基づく、1年毎の変動金利とします。
決算書のご提出と金利改定について	●成功判定(金利改定)のため、年一回決算書の提出をお願いいたします。 ●海外事業計画の期間中は、決算書に加えて「事業進捗報告書」もご提出いただけます。

なお、詳細につきましては、商工中金高松支店までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
株式会社商工組合中央金庫 高松支店
〒760-0052
高松市瓦町1-3-8
TEL.087-821-6145
FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

● 融資制度のご案内 ●

下記掲載は融資制度の一部ですので、詳しくは各事業までお気軽にお問い合わせください。

○創業支援貸付利率特例制度の概要(国民)

融資対象者	新たに事業を始める方または事業を開始して税務申告2期未満の方
融資限度額	各融資制度に定める融資限度額
ご返済期間	各貸付制度に定めるご返済期間以内
利率(年)	各融資制度に定める利率-0.2% ただし、女性または35歳未満の方およびUターン等により地方で創業する方(注)は各融資制度に定める利率-0.3% (注)Uターン等により地方で創業する方とは、仙台市、東京23区、名古屋市、大阪市、福岡市(以下、都市と言います。)に居住または勤務している方で、都市以外で創業する方をいいます。ただし、東京23区に居住または勤務している方については、東京23区を除く都市で創業する場合も含まれます。

○新事業活動促進資金(経営強化関連)の概要(国民、中小)

融資対象者	中小企業等経営強化法第13条に基づき経営力向上計画の認定(変更認定を含む。)を受けた方
資金使途	設備資金、運転資金
融資限度額	【国民生活事業】7,200万円(運転資金は4,800万円) 【中小企業事業】7億2,000万円(運転資金は2億5,000万円)
ご返済期間(うち据置期間)	設備資金 20年以内(2年以内) 運転資金 7年以内(2年以内)
利率(年)	基準利率 ただし、設備資金(土地に係る資金は除く)については、①国民生活事業は7,200万円まで、②中小企業事業は2億7,000万円まで、それぞれ基準利率-0.9%

○HACCP資金(食品産業品質管理高度化促進資金)の概要(農林)

融資対象者	食品の製造または加工の事業を行う中小企業者(協同組合等を含む)
資金使途	HACCP導入やその前段階の衛生・品質管理のために必要な設備資金 上記に併せて支出される、施設の円滑な立上げに必要な、システム開発費等の費用(特別の費用等) (指定認定機関の認定を受けた高度化計画又は高度化基盤整備計画に基づく事業)
融資限度額	事業費の80%以内又は20億円のいずれか低い額
ご返済期間(うち据置期間)	10年超15年以内(3年以内)
利率(年)	ご融資額 2億7,000万円以下 0.16~0.35%(*) 2億7,000万円超 0.31~0.50% (H29.6.19現在) (*)資金使途により2億7,000万円超の金利が適用になるケースがあります。

〈支店窓口〉

株式会社 日本政策金融公庫 高松支店 (URL:http://www.jfc.go.jp)

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 いちご高松ビル 2・3階

国民生活事業(2階) Tel.087-851-0198 Fax.087-822-9274
中小企業事業(3階) Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423
農林水産事業(3階) Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

中小企業大学校研修の御案内

1 生産計画改善とリードタイム短縮の進め方 ～顧客信頼を勝ち取る生産システムの構築～

- 日 時 平成29年8月1日(月)～8月3日(水)/3日間
- 会 場 中小企業大学校関西校(兵庫県神崎郡福崎町高岡)
- 内 容 ○工程管理の考え方
○生産スケジュールの組み立て方
○リードタイム短縮の具体的方策(演習)
- 対 象 管理者、新任管理者
- 受 講 料 31,000円(税込)
- 定 員 30名
- 研修のねらい 必要なモノを、必要な時に、必要な数量だけ、欲しいという顧客ニーズにより受注の多品種化と短納期化が進み、製造現場では生産計画の複雑化が生じています。本研修では、多様なニーズに対応するための製造現場のリードタイム把握と短縮の方法を学ぶと共に、生産計画改善策を考えます。
- 講 師 株式会社アティックフェイス 代表取締役 顯谷 敏也
- 詳細情報 <http://www.smrj.go.jp/inst/kansai/list/details2017/100546.html>

2 モデルで学ぶ原価管理とコストダウン ～全社の視点で取り組む最適原価への挑戦～

- 日 時 平成29年8月28日(月)～30日(水)/3日間
- 会 場 中小企業大学校関西校(兵庫県神崎郡福崎町高岡)
- 内 容 ○生産現場におけるコスト管理の重要性
○コストダウンの手法と実践ポイント(演習)
○自社でのコストダウン活動
- 対 象 管理者、新任管理者
- 受 講 料 31,000円(税込)
- 定 員 30名
- 研修のねらい 国内のみならず、安価な輸入製品等との競争が激化する中、コスト競争に打ち勝つため、製造現場にはさらなるコストダウンが求められます。
本研修では、製造現場をモデル化した教材を使い、原価計算とコストダウンのポイントを学び、コストダウン活動の改善のための実践力を高めます。
- 講 師 株式会社MEマネジメントサービス 常務取締役 大塚 泰雄
株式会社MEマネジメントサービス システム事業部長 橋本 大和
- 詳細情報 <http://www.smrj.go.jp/inst/kansai/list/details2017/100560.html>

お問い合わせ先 中小企業基盤整備機構近畿本部 中小企業大学校関西校
兵庫県神崎郡福崎町高岡 TEL.0790-22-5931

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	肺炎がいやなら、のどを鍛えなさい	西山耕一郎	飛鳥新社/1,200円
2	儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇	ケント・ギルバート	講談社/907円
3	多動力	堀江貴文	幻冬舎/1,512円
4	今こそ、韓国に謝ろう	百田尚樹	飛鳥新社/1,400円
5	応仁の乱	呉座勇一	中央公論新社/972円

香川県書店商業組合調べ

安心
 国の制度だから
 安心・確実

掛金の助成を
 受けることができます

簡単
 外部積立型だから
 管理がカンタン



中退共は、半世紀で100万社以上の中小企業が利用する国の退職金制度です。

ご存知ですか？ 中退共の退職金制度。

有利
 掛金は全額非課税

手数料もかかりません

パートさんも
 加入できます

事業主と生計を一にする同居の親族のみを雇用する事業所の従業員も、次の条件を満たしていれば加入できます。

- 小規模企業共済制度に加入していないこと
- 事業主との使用従属関係を確認できる書類の提出が可能なこと

※掛金助成の対象となりません。

詳しくはホームページをご覧ください **中退共** **検索**

<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/>

中退共制度のしくみ

- | | |
|---------------|--|
| ① 加入申込 | お近くの金融機関等の窓口でお申込みください。事業主が中退共と「退職金共済契約」を結び共済手帳が送付されます。 |
| ② 掛金納付 | 毎月の掛金は全額事業主負担で、口座振替で金融機関に納付します。 |
| ③ 支払い | 退職した従業員の請求に基づき、中退共から退職金が直接支払われます。 |

ご活用ください。 産業雇用安定センター

（当センターは、厚生労働省と経済・産業団体の協力により設立された公益法人で、「失業なき労働移動」実現にむけて、全国ネットで出向・移籍等の支援業務を行っています。）

会社間の人材移動

雇用の拡大

事業の拡大・組織の強化等

雇用の縮小

事業の再編・縮小・閉鎖等

無料の職業紹介

情報提供・相談・斡旋の
費用はかかりません。

- 人材の受入（途中採用）や人材の送出（雇用調整による再就職支援など）をご検討の企業様からのご相談をお待ちしています。
- 離職を余儀なくされる方に、ご希望をお聞きし求人開拓を行い再就職のお手伝いをいたします。

●お問い合わせは



公益財団法人 産業雇用安定センター 香川事務所

〒760-0023 香川県高松市寿町2丁目4-20（高松センタービル8階）

TEL.087-851-1011
FAX.087-851-1014

ご利用時間

9:00~17:00
（土・日・祝日は除く）

